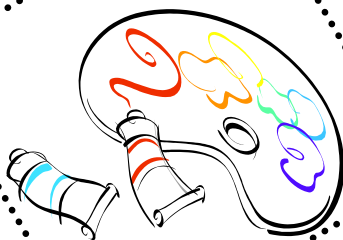


中学生・高校生のための読書情報誌！

Ya-Room. com

第26号

平成 25年 10月 14日 発行





今回のテーマ「オリンピック」

「オリンピック・トリビア！」 満園文博/著（新潮社/刊）

7年後と少し先の話になりますが、2020年の夏季五輪の開催地が東京に決まりましたね。この機会に過去のオリンピックのお話、ちょっと覗いてみませんか？1位に銀、2位に銅、3位はメダルなし、実は金メダルがなかった大会がある！五輪に必ず参加の平和象徴である鳩、それがまさかの「聖なる焼き鳥」に！？バレーボールが五輪に加わった1964年、「東洋の魔女」と呼ばれ人気だった女子バレー、金メダル奪取のTV中継はなんと平均視聴率は驚異の85%だった！



「世界最速の男をとらえろ！」 織田一郎/著（草思社/刊）

様々な競技が行われ、多くのアスリートが注目されるオリンピック。連続記録や世界記録更新など楽しみは尽きませんね。昭和39年の東京五輪ではそれまで曖昧だった手動判定がより正確な電子判定に変わりました。これは、日本の技術者が試行錯誤を繰り返し挑み続けた成果です。記録はどのように進化してきたのか現在も写真判定や水泳のタッチ板など記録方法は進化し続けています。

「初耳だらけのオリンピックびっくり観戦講座 夏編」 稲垣正浩/著（はまの出版/刊）

スポーツ競技において、国や地域によって強い弱い差があるのはなぜ？それは体格や運動能力の差という単純な理由だけではないようです。その競技の成り立ちやその国の歴史的・社会的・経済的、他国との力関係などが密接に関わっているのです。この本には、各競技の面白いエピソードが沢山紹介されています。東京オリンピックを迎える前に読んでおくと、（その前にリオデジャネイロもあります…）今までと違った見方での観戦が楽しめるかも！？



「オリンピックの身代金」 奥田英朗/著（角川書店/刊）

昭和39年夏、東京はアジア初となるオリンピック開催を控えて熱狂に包まれていた。そんな中、開催直前に警察を狙った爆破事件が発生、そして「オリンピックを妨害する」という脅迫状が届いた。その背景には、日本が高度経済成長に沸き上がる一方で、貧困のうちに取り残された者たちの叫びがあった。オリンピック妨害はその格差への訴えなのか？吉川英治文学賞受賞のサスペンス大作！



「犬から聞いた素敵な話」

山口花／著（東邦出版/刊）

みなさんは「涙活（るいかつ）」という言葉を知っていますか？

自発的（積極的）に泣くことで、心のデトックスをする活動のことで、悲しい時や感動した時などに、相手の境遇に共感して流す涙にはストレス発散効果があるそうです。

この本は“飼い主と愛犬とのキズナ”が感動を呼ぶ14話のエピソード集です。秋の夜長、あなたも思いっきり涙を流してみませんか？

「キケン」

有川浩/著（新潮社/刊）

某大学にある部活の一つ「機械制御研究部」。略称【機研（キケン）】。

部長は爆弾魔の異名を持ち、副部長は大魔神と呼ばれる。そこに過激な適性検査を潜り抜けた新入生をプラスして、キケン黄金時代が始まった！

学園祭では「奇跡の味」ラーメンを、ロボコンではまさかの〇〇!?遊びで作ったモノで危うく犯罪者に!? 色鮮やかに甦る思い出。全力だったあの頃、確かに僕らはそこにいた。

「名前探しの放課後 上・下」

辻村深月/著（講談社/刊）

「3ヶ月後、同級生の誰かが自殺する」。タイムスリップによって3ヶ月前に戻された依田いつか。自殺を止めるため、同級生たちと自殺をする人物の「名前探し」を始める。

「誰か」を見守りながら、自分自身とも向き合っていくいつか。

体験してしまった暗い未来を変えるために、人はどれくらい注ぎ込めるのか。「誰か」を救うことはできるのか。以前とは違う3ヶ月を過ごし、ついに運命の日を迎える。

「東京バンドワゴン」

小路幸也/著（集英社/刊）

下町の一角にある古い日本家屋。明治から続く古本屋「東京バンドワゴン」と隣接したカフェは、三代目堀田勘一を筆頭に4世代の大家族の住まいであり店である。勘一の息子で伝説のロッカー我南人、その長男フリーライターの紺、長女で画家の藍子、次男で愛人の子である青に、お嫁さんや孫達。

大事な家族、仲良しのご近所さん、見ず知らずの誰か、お店に日々持ち込まれる事件は家族皆で解決する。それはLOVEが溢れる物語です。







図書館カレンダー

10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

-  一般室は午前9時～午後8時
-  児童室は午前9時～午後6時
-  一般室・児童室とも
午前9時～午後5時
-  休館日（毎週火曜・年末年始）

★年末年始のお休み 12月29日 ～ 1月3日まで

★ 図書館利用についてのお願い ★

学校のテスト前や夏休みなど、多くの学生さんに図書館をご利用いただいておりますが、開館と同時に館内へ駆け込んでくる人やお友達と楽しそうに話しながら走っていく人をよく見かけます。図書館は老若男女、小さな子どもからご年配まで様々な方が利用していますので、館内を走るのは事故の原因となりかねません。棚が多い書架では、ぶつかって相手に大ケガをさせたり、逆にぶつかられてケガをしてしまう可能性もありますので、館内で走るのはやめましょう。

草加市立中央図書館

<http://www.lib.city.soka.saitama.jp/>